

創新

会報第27号（議会報告）

江田島市議会議員

胡子まさのぶ



ごあいさつ

平成28年度が始まりました。早いもので平成15年に町議会議員となつてから政治活動も6月から14年目に入ります。

昨年は国の地方創生方針により5ヶ年の重点プロジェクトをまとめた「江田島市総合戦略と人口ビジョン」が策定され、また、今年度から広島市を中心する「広島広域都市圏」が本格稼働します。

一方、呉市も4月から中核都市に移行し、将来、「連携中核都市宣言」を視野に江田島市との連携強化を目指しています。

なりません。私の目標は、江田島市を『行ってみたい、住んでみたい、恵み多き島』にすることです。

地域資源が豊富で広島湾の中心に位置し、広島市・呉市に近い地の利を生かした『島づくり』に取り組んでまいります。

行財政改革審議会

昨年11月に総務常任委員会の副委員長に就任したことにより審議会委員となりました。3月23日に第2回審議会が開催され、重点取組項目の進捗状況について審議しました。

①行政経営の視点による事務改善の実施

今年度、事務事業評価シートを作成し、平成28年度から第2次総合計画・実施計画の「部門別計画」の「施策・事業の展開」にあ

る248事業（国・県を除く単市事業）を導入することになります。評価の仕方にも工夫が必須です。評価公表については審議会公表方法等について別途検討する予定。

②市民ニーズに対応した人材育成と組織体制の構築

平成27年度は人事評価制度（保育士・消防職員除く）を実施、職員研修の推進を行った。また、6月には内部資料（非公表）として第2次江田島市定員適正化計画を策定。

③公共施設の再編・整備による効率的な施設運営

「公共施設のあり方に関する基本方針」に基づき、設置目的や利用状況を踏まえて既存施設の再編整備を進めます。自治会単位の集会所を1地区1施設に集約することを推進します。（集会所等再

編整備事業補助金制度）平成28年度は一部施設を地元自治会等に認可地縁団体（不動産登記可能な法人）になつていただき委譲することを検討。深江地区・宮ノ原地区、沖地区で地元協議が始まります。地元負担が大きくなりたくないよう要望しました。

④「新たな広域連携」の枠組みの中でのより効率的な行政運営の検討

広島広域都市圏（広島市の連携中核都市宣言書）と江田島市・広島市海生交流協定に基づいて行政サービスの向上を図る。圏域内職員交流・研修事業をどう活用するかが課題。

⑤アウトソーシングの積極的な利用

アウトソーシング基本方針（平成28年3月策定）に基づく計画的な民間委託による効率化を目指す。①にあ

る事務事業評価シートの有効な活用および最適なアウトソーシングの手法（指定管理者制度、PFI、民間委託、自治会等の団体との協働）を適用することが重要です。

交通網形成計画策定

江田島市の将来像である「協働と交流で創りだす『恵み多き島』」を「恵み多き島」の実現に向け、本市の公共交通の将来像を見据えつつ、公共交通の役割を明確にし、地域の維持・発展に貢献する持続可能な地域公共交通網を形成するため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、「江田島市地域公共交通網形成計画」が策定されました。

新鮮市場 指定管理者選

「海辺の新鮮市場」は平成11年度に設置された公の施設です。設置目的は特産品の販売等を行うことにより、地域振興を図るためであり、主な事業内容として、特産品の展示販売等の観光振興事業、地域住民の交流活動の場の提供、その他必要な事業ということになっています。

平成18年9月から「公の施設」に関して指定管理者制度を導入しました。指定管理者の指定には議会の議決が必要です。

尚、これまでの「海辺の新鮮市場」の指定管理者の変遷は次の通り。5年前と同じ事業者に戻ります。

①平成18年9月1日～平成20年3月31日
江田島漁業協同組合

②平成20年4月1日～平成23年3月31日
江田島漁業協同組合

③平成23年4月1日～平成28年3月31日
江田島市水産物等販

④平成28年4月1日～平成31年3月31日
江田島漁業協同組合

マーケティング専門員を登用へ

平成28年度の注目する新規事業として『恵み多き島マーケティング事業』があります。（予算432万円）第2次総合計画および総合戦略に掲げる『交流人口の増加』を着実に遂行するため

マーケティング等に長けた人材を非常勤特別職（地方創生参与）として採用するもので江田島市始まって以来の画期的な試みです。登用期間は当面2年間を見込む。

2月定例会一般質問

(1) 第3次行政改革大綱・実施計画について

①行政評価制度の活用について

【胡子】第2次行財政改革で行政評価制度を構築し、実施・見直しを行ってきた。第3次実施計画には初年度の平成27年度に事務事業点検制度の構築がある。平成27年度作成の進捗状況はどうか。

【市長】今年度は制度設計に取り組み、素案ができました。行政改革審議会でも審議していただきます。

【胡子】第2次行財政改革の確認からします。実施計画では行政評価制度の構築及び50項目の実施がなされたがこれですべてか。

【総務部長】平成22年度は民主党政権の事業仕分けの手法を用いて

12項目について職員による評価を行いました。平成23年度からの50項目は、補助金制度見直しの基本方針を定め、各種団体への補助金についての精査を目的にしました。

【胡子】評価結果を市民に公表するとあり、進捗状況を3度HPで公開しているが。

【総務部長】行政評価の公表としては不十分と認識しています。第3次の事務事業点検については改善します。


【胡子】簡単にまとめたいものを広報えたいもので公表することで市民との協働のまちづくりにがスムーズにいくと思うがどうか。

【総務部長】広報、HPで市民に分かりやすいものにしていきます。第3次行財政改革も折々に特集記事を掲載したいと考えます。

こちら面につづく

胡子雅信後援会

住所：〒737-2213 江田島市大柿町大原5563-4
 電話&ファックス：0823-57-2184
 E-MAIL：ebisu7@nifty.com
 ブログ：http://mebisu924.cocolog-nifty.com/etajima/



2~3名様から出張報告します。お気軽にご連絡下さい。

グローバルリーダー育成校について

開校時期：平成30年4月1日（予定）
 設置形態：併設型中高一貫教育
 課程・学科：全日制課程普通科
 学校規模：計360人
 （中学校：1学年50人、高等学校：1学年70人）
 通学区域：全県一円
 寄宿舎：設置（全寮制）
 設置場所：以下の「選定基準」に基づき今後検討

【候補地の選定基準】
 ①学校設置について地域の賛同が得られ、生徒に対する住民からの支援が見込まれること
 ②質の高いプロジェクト学習を実施するために有用な資源（学習素材や連携機関等）を地域に有すること
 ③自然豊かな学習環境であり、敷地面積が概ね5万㎡以上であること
 ④大規模な土地の造成など、過大な追加のコストが必要ないこと

※設置を希望する市町村からの提案内容も踏まえて検討

(2) グローバルリーダー育成校の誘致について

【胡子】県教育委が平成30年4月開校を目指すグローバルリーダー育成校の設置場所について4基準が示された。江田島市への誘致を検討してはどうか。

【市長】選定条件について、4基準以上の具体的な内容は不明であり、県教委に内容を確認しながら誘致の可能性について検討します。

【胡子】鹿田公園が一つの候補地になりえないか。

【市長】開校まで2年しかない。役所の考えでいくと校舎・宿舎を造るには（時間的に）できる話ではないと思います。県教委に問い合わせても不明の点が多い。大崎上島町・呉市・竹原市も誘致の考えがある。4つの条件でいくと江田島市は苦しい。（大学等の高等教育機関もない。地域の支援機関になることも予想される。）県の情報も仕入れて対応したい。



存廃結論来月以降に 能美海上ロッジ

江田島市の田中市長が表明、能美海上ロッジの存廃について、来月以降に結論を出す。市長は「存廃の結論を出す時期は4月以降に持ち越し考えを」と話した。

存廃について検討が重ねられている能美海上ロッジ
 能美海上ロッジは市内で数少ない宿泊施設で、田中市長は「島の滞在時間を延ばすには宿泊施設が必要」と認める一方、「建設に必要十分な10億円程度の費用が掛かっている。もう少し状況を見て決めたい」と述べた。

「建設に必要十分な10億円程度の費用が掛かっている。もう少し状況を見て決めたい」と述べた。

「建設に必要十分な10億円程度の費用が掛かっている。もう少し状況を見て決めたい」と述べた。

能美海上ロッジのゆくえ

結論は平成28年度に持越し

昨年3月に能美海上ロッジ等整備検討委員会から受けた整備方針についての提言を受けて、平成27年度に庁内組織による検討本部会議で「江田島

【胡子】県議会でも議論されており、まだ時間はある。青少年交流の家と協力すること（国・県・市の連携、たい。

【胡子】県議会でも議論されており、まだ時間はある。青少年交流の家と協力すること（国・県・市の連携、たい。

市観光振興のあり方

3月29日の議会全員協議会において市の方向性が報告されました。第2次総合計画に掲げる「協働と交流で創りだす『恵み多き島』えたじま」の実現に向け、交流人口100万人を目指すため、「観光振興のエンジン」として、魅力ある宿泊観光関連施設の整備が必要という結論に達し、今後は整備方針、整備手法などについて検討本部会議で協議を進めるとのこと。

資金調達・整備手法等については外部専門家や4月から登用するマーケティング専門員も交えて検討するよう要望しました。

【胡子】平成26年度に実施予定であった江田島バスの監査は実施されたか。

【企画部長】把握していません。のちほど報告します。（監査していません。）

【胡子】毎年監査をし

地域おこし協力隊募集結果

①オリブ栽培技術指導員	1名	男性（神奈川県、34歳）
②オリブ普及員	1名	女性（広島市、41歳）
③移住促進支援員	1名	男性（東京都、32歳）
④大柁高校魅力アップ支援員	1名	採用なし
⑤地域スポーツ振興支援員	1名	男性（岡山県、24歳）

地域おこし協力隊

都市部から過疎地域等に人材を呼び込み、移住につなげるねらいで総務省が2009年度に開始。地場産品の開発や農林水産業への参画、地域住民の生活支援に取り組む。住民票を移すことを条件に国が財政支援し、市町村が採用する。

原則1年とし、最長で3年まで延長することができます。

【総務部長】事業評価シートを取り入れ、まずは内部評価し、アウトカム（成果）指標がうまく設定できたものをどういう形で市民に公表するか検討します。

【胡子】評価結果の公表は非常に重要。市民の皆さんに市がやっている仕事を知らせてもらうことで協働のまちづくりに繋がります。外部委員による客観的な評価が必要では。

【総務部長】内部評価の精度を上げて、将来的に外部評価について行財政改革審議会のなかで意見をいただきます。

【胡子】平成28年度は事務事業点検をどの事業から手がけるのか。

【市長】行財政改革の基本取組項目のうち、「選択と集中による事務・事業の重点化」に掲げております。「第2次江田島市総合計画・実施計画」に計上している事業から手掛けるよう検討しています。

【胡子】内部点検にとどまるのか。また、公表はどうか。

② 指定管理者制度の効果的な活用について

【胡子】平成27年度の指定管理者制度の効果検証はどうか。

【市長】17施設について15団体を指定管理者として議決していただいたが、更なる検討が必要な施設は、指定管理期間を2〜3年間とし、担当課に対して改善あるいは是正を促しています。

【胡子】指定管理者制度の運用方針は定められているか。

【総務部長】「方針」と銘打ったものは定められていません。

【胡子】根本的な指針つまり原則は作っておくべきで検討してください。

公設民営化された

【胡子】事務事業点検の職員研修はどうか。

【総務部長】習熟度は不十分と認識している。計画的に研修を実施します。

交通船事業のモニタリング実施はどのように行うのか。

【市長】中町・宇品航路の管理運営に関する包括協定書において、モニタリングに関する規定を設けて、適切な運営の確保を図ります。年度終了後に、指定管理者による運航状況を評価し、公表することも併せて規定してまいります。

【胡子】モニタリングマニュアルはあるのか。

【企画部長】包括協定書に提出書類等やモニタリング方法を盛り込んでいます。

【胡子】モニタリング結果（運営状況）の公開時期は。

【企画部長】事業者と調整し、12月には公表したいと考えています。

【胡子】兵庫県宝塚市が指定管理者に関する運用方針、モニタリングマニュアルを作成し、評価を公表しているのは是非、参考にして検討してください。公の施設である以上、自治体は施設設置者としての責任があり、利用実態

③ 第3セクターをどう考えるか

【胡子】第3セクターへの関与のあり方や運営をどう考えているか。

【市長】第3セクターの自主性・自立性を尊重しつつも、行政と協調した運営が図られるよう取り組むとともに、その健全な経営が確保されるよう内容把握に努めます。

【胡子】平成26年度に実施予定であった江田島バスの監査は実施されたか。

【企画部長】把握していません。のちほど報告します。（監査していません。）

【胡子】毎年監査をし

江田島バス線の収支状況 (円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
売上高（※下記参照）	112,487,727	110,184,270	112,032,591
販売費及び一般管理費	160,985,248	160,054,765	159,981,946
営業損益	▲48,497,521	▲49,870,495	▲47,949,355
江田島市等からの補助金	64,906,000	71,876,000	63,402,000
経常利益	16,519,227	22,264,715	15,557,487
税引き後の純利益	11,714,102	14,353,914	11,224,941

等を市民に説明しなければならぬ。アウトソーシング基本方針を策定予定であり、指定管理者制度の効率的な活用を行政改革の柱としていく江田島市です。事務事業点検を着実に実施し、住民サービスの向上および経費削減等を図ることを要望します。

【売上高の明細】

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
普通運賃	37,867,676	37,378,976	37,656,439
定期運賃	24,091,990	23,131,593	23,136,057
回数運賃	12,682,141	12,085,505	11,524,747
貸切（一般）	11,776,420	12,313,196	13,955,348
スクールバス	25,609,500	24,945,000	25,500,000
広告料	460,000	330,000	260,000
売上高 合計	112,487,727	110,184,270	112,032,591

ないのか疑問に思う。江田島バスは毎年赤字というが5〜6千万円の補助金があつて赤字である。収支状況を市民の皆様は知ってほしいべきである。

【総務部長】全般的な話になりますが、市民との協働のまちづくりを進めており、「選択と集中」で事業を特化していくにはそれぞれの事務事業について情報を公開して、みなさんに評価をしていただく。江田島バスについても同様のことが考えられます。これから市民の皆様は情報公開をしていくということ、それぞれの事業について積極的な取組を進めるよう検討します。

【胡子】第3次行財政改革実施計画にも書いてあり、第3セクターにおいても財務諸表等の公開を。